

I はじめに

同世代の高校生の中で、「女子力」という言葉が日常的に使用されていることに違和感を覚えた。男女共に子育てなどの家庭生活に積極的に参加すること、社会で自身の能力を発揮し活躍することが求められている時代に、この言葉を使うことで知らないうちに性別による役割を私たち自身に押し付けてしまうと考えた。

先行研究「女子力とポストフェミニズム」では（菊地、2016）、「女子力」という流行語が「新たな良妻賢母の規範」として若さと密接に関連付けて使用されている可能性が高いと示唆している。

本研究では、ジェンダーギャップ指数の高い他国と比較することによって、日本の高校生が潜在的に持っている、ジェンダーに関する価値観や意識を明らかにすることを目的とする。

II 研究1

1. 目的

高校生が、女子力をどのような意味として捉えているのかを明らかにする。

2. 方法

全日制県立高校に通う1～3年生529名にGoogle Formでアンケートを実施した（2023年）。内容は、女子力についての捉え方を問う12項目である。

3. 結果から考えられる考察

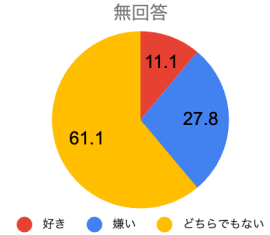
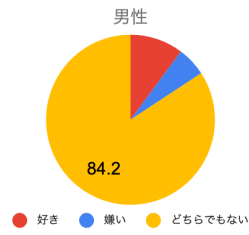
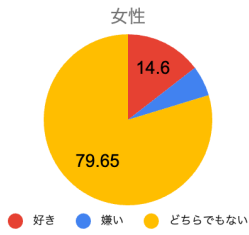
アンケート結果の詳細は付録に掲載する。以下では、特に注目すべき特徴が見られた点について考察する。

- ①「女子力」が一つの言葉・概念として高校生に受け入れられている。
- ②「女子力」は以前よりも「外見」の要素が重視されている。
- ③「女子力」は多くの人が身につけるべき"能力"というよりも、女性が身に付けると恋愛や異性との交流といった場で役立つと考えられている"特性"として捉えられている。
- ④「女子力」は昔に比べ「多様な特性のうちの一つ」としてみなされるようになっている。

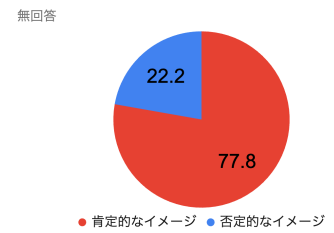
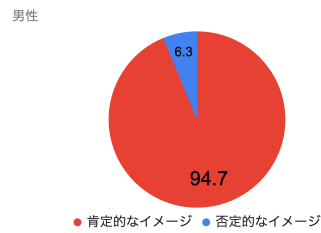
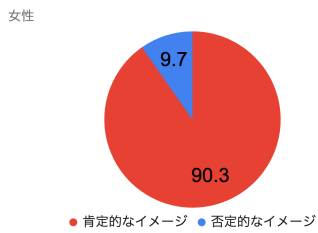
以下で詳細を記載する。

①について

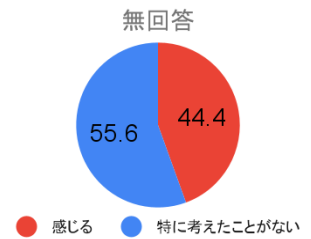
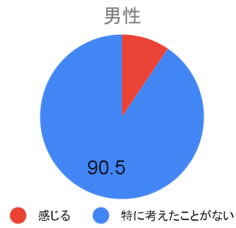
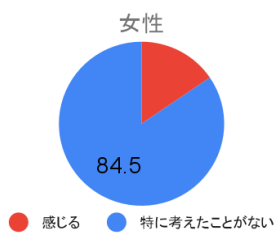
(1) 「女子力」という言葉の好き嫌い



(2) 「女子力」という言葉の肯定的・否定的イメージ



(5) 「女子力」という言葉に違和感を感じるか



「女子力」に対して好意的であったり嫌悪感、違和感を抱いていたりする人は少なく、肯定的なイメージを持つ人が多いことが分かる（結果1-(1)(2)(5)）。これらのことは、女子力という言葉やその概念が高校生に浸透しており、存在が一般化している可能性があることを示唆している。

②について

(3) 「女子力」と聞いて思いつくこと

女性

美容	51
メイク	49
料理・お菓子作り	48
髪型	45
服装	43
家事	33
体型	17
よく笑う	12
教養・勉強	11
コミュニケーション能力	10
向上心がある	7
持ち物	3
答えたくない、分からない	1
振る舞い	1

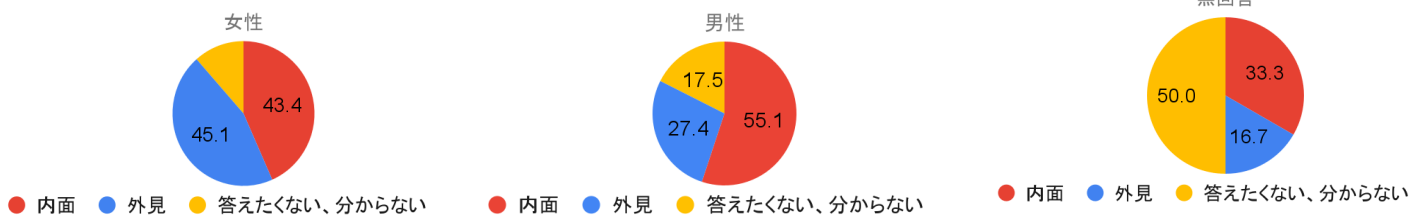
男性

料理・お菓子作り	59
美容	55
メイク	52
服装	49
家事	45
髪型	43
コミュニケーション能力	21
よく笑う	20
体型	19
教養・勉強	18
向上心がある	9
持ち物、小道具ポーチ	2
答えたくない、分からない	1
コロコロ	1
気遣い	1

無回答

家事	14
料理・お菓子作り	10
美容	9
メイク	7
髪型	6
服装	6
よく笑う	3
体型	3
教養・勉強	2
向上心がある	2
答えたくない、分からない	2
コミュニケーション能力	1
筋力、握力	1
ジェンダー	1
裁縫セット	1

(4)女子力において重要視されるのは内面・外見どちらか



「女子力」と聞いて思いつくことを聞いた質問では、それぞれの性別の上位3項目に「美容」が入り、女性・男性はそれに加えて「メイク」が上位3項目に入り込むこととなった(結果1-(3))。

「女子力において内面・外見どちらが重要視されるか」を聞いたところ、夏野(2016)が2011年に大学生を対象に行った先行研究よりも「外見」を重要視する傾向が高まった(結果1-(4))。この差は10年前に比べ、InstagramやTikTokといった、視覚情報を媒体としたSNSの普及がルッキズム(外見至上主義)を重視する価値観を醸成し、高校生の中に影響を与えたのではないかと考える。

プラン・ユースグループの調査報告(2023)によると、15歳~25歳の「ユース世代」が自分の容姿に関心を持ったきっかけとして「友だちとの会話」の次に僅差で「SNS」と回答した人が多く、特に女性はSNSからの影響が最も大きい。女性はインフルエンサーなども含め知らない他者から影響を受ける傾向が高いと分析されている。「自分の容姿について悩んでいる」と答えた女性の割合も男性より高い。本研究でも「外見」と答えた人の割合は女性が圧倒的に高かった(結

果1-(4) ことから、SNSの影響を受け女性が容姿を重要視するようになった可能性が高いということを示唆している。

③について

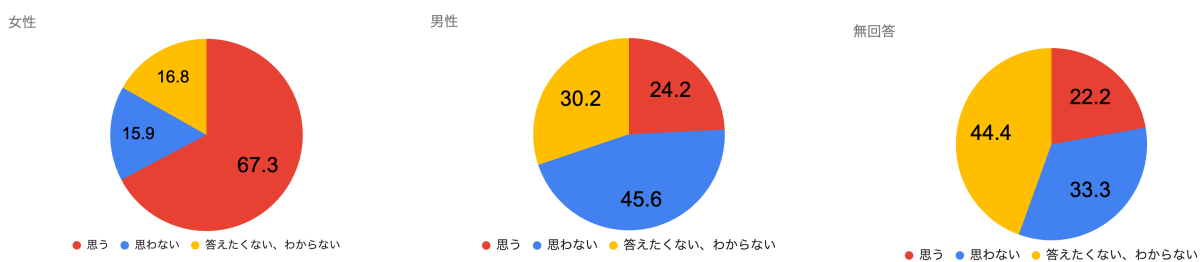
(6) 「女子力が高い」と言われてどう思うか（複数回答）

	女性	男性	無回答
A 嬉しく思う	163	95	4
B 嬉しく思う+反応に困る	8	10	0
C 嬉しく思う+何も思わない	1	2	1
D 嬉しく思う+何を思わない+反応に困る+何も思わない	0	4	0
E 反応に困る	17	72	7
F 反応に困る+何も思わない	3	1	0
G 何も思わない	32	92	6
H 不快に思う	2	4	0
I 不快に思う+反応に困る	0	1	0
J その他（自由記述）	0	4	0

その他（自由記述）：・周りの人からはそのように見えているのかと思う

- ・男なので何も思わない
- ・女子じゃないので分からない
- ・相手は馬鹿なのだと確信する

(7) 「女子力」をあげたいと思うか



「女子力が高いと言われて嬉しいか」という質問に対して、「嬉しい」と答えたのは女性が圧倒的に多く、その理由として「（自身の性別が）女性だから」といった回答も少なからず見受けられた(研究1-(6))。「反応に困る」「何も思わない」と答えた人の理由を見てみると、回答者自身の性別が男であるからといった回答が目立った(研究1-(6))。「女子力を上げたいか」という質問に対しても、「上げたい」と回答しているのは女性が圧倒的に多く、「モテたい」「好きな人や彼氏に好かれていたい」といった回答が目立っている(研究1-(7))。「女子力」が高いことは恋愛や男性との人間関係を円滑におこなうことに必要な要素であるという捉え方が分かる

る。それに対し、男性自身は「女子力」の向上に対し関心が薄いことから、男性が恋愛や女性との人間関係を円滑に進めるにあたり「女子力」は必要とされていないことがわかる。菊池（2016）の先行研究でも、「『女子力』が高いと有利になると思うものがあれば最大3つまで教えてください」という質問に対し、男女ともに「結婚、男性に対する人間関係、結婚」の順に高かったことから、「女子力」は女性が恋愛や男性との人間関係に役立つと考えられていることは変わっていないことがわかる。「また、女子力を上げたいと思う理由に仕事や将来のキャリアアップのためといったような意見は見られなかったことから、菊池(2016)が示していた能力主義の要素は薄くなっていることが考えられる。特定の能力や自分自身の力を向上させるために「(女子力を)上げたい」と答えた人がいる一方で、「(女子力を)上げようとは思わない」と答えた人の中では「自分らしくありたい」「女子力以外に上げたい能力がある」といった、自分なりの考えに基づき自己を確立しようとするような意見が目立った。

現在、「女子力」という言葉は男女関係なく身につけておいた方が良いことを抽象化した概念的な言葉であり、その能力を身につけるのに性別は関係ないというような解釈をしている風潮が見受けられる。だが、前述した分析を踏まえると実際そのような風潮は高校生には浸透しておらず、「女子力」は「多くの人が身につけるべき"能力"」というよりも、「ある人のもつ"特性"」として捉えられており、女性が身に付けると恋愛や異性との交流といった場で役立つと考えられている側面もある。

④について

菊池(2016)は、大学生を対象としたアンケート調査により、「女子力」の使用実態からは、ジェンダー規範と能力主義の結合が浮き彫りになるとしている。「新たな良妻賢母規範」として、「女子力」が能主義的・主体的な新しい要素と、古典的なヘテロセクシャルな要素の両面を持つジェンダー規範であると論じた。それに対し、現在の高校生が捉える「女子力」とは、考察③からわかるように外見至上主義的な要素がより色濃くなった一つの特性であるとわかる。その一方で、「男女差別」「女性への固定概念の押し付け」「多様性の時代」といったことから、「女子力」に対し否定的な印象を持ったり（研究1-(2)）言葉の概念に対し違和感を感じる人も存在する（研究1-(5)）。自己実現を大切にする姿勢から「女子力を上げること」に囚われない姿勢をしている人がいることもわかる（研究1-(7)）。これらのことから、「女子力」は多様な価値観の中に存在する、一つの「特性」であるとみなすことができる。

Ⅲ 研究2

1. 目的

ジェンダーギャップ指数の高いニュージーランドの高校生と日本の高校生のジェンダーに関する価値観や意識を比較する。

2. 方法

ニュージーランドの公立高校に通うyear11～13(日本の高校1年～3年に値する)38名、日本の通信高校に通う1～3年生35名にアンケートを実施した。ニュージーランドでは校内でスマートフォンの使用が認められていないと聞いていたため紙媒体で、日本ではGoogle Formでアンケートを配布した。内容は、STEAM教育の男女格差問題に対する意見や生徒の進路選択を中心とした10項目である。

3. 結果から考えられる考察

研究2-(1) 性別ごとの好きな科目

ニュージーランド

女性

	人数	割合
理系科目が含まれている	9	37.5
芸術科目のみ	4	16.7
理系科目のみ	3	12.5
芸術科目が含まれている	3	12.5

男性

	人数	割合
芸術科目が含まれている	5	38.5
理系科目のみ	4	30.8
理系科目が含まれている	3	23.1
芸術科目のみ	1	7.7

日本

女性

	人数	割合
理系科目が含まれる	3	15.0
芸術科目のみ	3	15.0
芸術科目が含まれる	3	15.0
理系科目のみ	1	5.0

男性

	人数	割合
理系科目のみ	4	30.8
理系科目が含まれている	0	0.0
芸術科目	0	0.0
芸術科目が含まれている	0	0.0

得意科目

ニュージーランド

女性

	人数	割合
理系科目が含まれている	5	20.8
芸術科目が含まれている	4	16.7
理系科目のみ	1	4.2
芸術科目のみ	1	4.2

男性

	人数	割合
理系科目のみ	4	30.8
芸術科目が含まれている	4	30.8
理系科目が含まれている	1	7.7
芸術科目のみ	1	7.7

日本

女性

	人数	割合
理系科目のみ	5	25.0
芸術科目が含まれている	1	5.0
理系科目が含まれている	0	0.0
芸術科目のみ	0	0.0

男性

	人数	割合
理系科目のみ	2	15.4
理系科目が含まれている	1	7.7
芸術科目が含まれている	0	0.0
芸術科目のみ	0	0.0

日本の女性の得意科目の結果を除き、女性は好きな科目・得意な科目に「理系科目が含まれている（選択した科目が複数ありその中に理系科目が含まれている）」人の割合が「理系科目のみ」よりも高く、男性は好きな科目・得意な科目に「理系科目のみ」の人の割合が「理系科目が含まれている」人よりも高い結果となった。

また、日本の男性で好きな科目・得意な科目に芸術科目を挙げた人はいなかった。

研究2-(2)

理系分野を専攻する予定の人のうち各分野の女性の割合

ニュージーランド

保健	工学	農学	理学	理系全体
85.7	40.0	100	0.0	64.3

日本

保健	工学	農学	理学	理系全体
0.0	75.0	100	0.0	66.7

大学進学し理系分野に進学予定の高校生のうち、女性の割合は両国とも5割を超えていた。だが、日本のSTEM分野に占める女性割合はOECD加盟国中最下位であるのに対し（自然科学・数学・統計学で27%、工学・製造・建築で16%）、ニュージーランドの割合はOECD各国の平均よりも高い（OECDの平均が自然科学・数学・統計学で52%、工学・製造・建築で26%に対しニュージーランドでは、それぞれ57%、30%）最低内閣府男女共同参画局の調査によると、理系分野入学者の大学入学者に占める女性の割合は「理学→工学→農学→医師薬学→その他保健」といった順に高くなり、医歯薬学・その他保健を除く分野では5割にも満たない。これに対して、今回の結果からは理系進学者のうち女性の割合が最も高いのは工学であり、その次に農学が続く結果となり、いずれも5割を優に超えている。よって本研究の調査結果と公的機関の調査結果に大きな乖離が生じたことが分かる。この要因として、ニュージーランド・日本ともにアンケート母数が少なかったこと、調査対象の男女比に若干の偏りがあったことを考える。

上記の結果を経て、下記の3点を本研究の考察とした。

- ①日本の高校生はニュージーランドの高校生に比べて「男女で能力・才能の差に違いがある」と思っている人の割合が高い。
- ②日本の高校生は理系大学の女子枠設置を新たな差別（男性差別）を生み出す制度だと捉えている。
- ③日本の高校生は男女差があることを認識している一方で、女子枠設置に対し否定的な印象を持っている人が多く、そのような印象を持っていても留保に留めている人が多い。

以下で詳細を記載する。

①について

「男女の違いによって持っている能力や才能に差が出ると思うか」という質問に対し、「そう思う」と答えた人の理由について、ニュージーランドでは「女性の方が精神的な発達早い」「男性より女性の方が勉学に興味を持つ、熱心に取り組む」といった、女性の精神的・知的能力が優れているとみなす回答がいくつみられた。一方日本では、何か特定の能力に対し女性の方が優勢だとみなす意見がない。それに加え、雇用する側の立場や経済効果の視点から、女性を雇用することへのハンディギャップを指摘する意見も見られる（研究2-(4)）。これらの結果は、日本の高校生の中に男性優位社会の影響を受けた価値観が根強く残っている可能性を示唆している。また、「どちらとも言えない」と回答した人の理由は、ニュージーランドでは男女格差を感じたことがないといった回答がみられるのに対し、日本では社会的な慣習や思い込み・偏見に

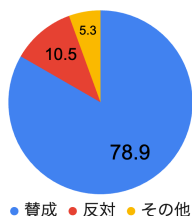
よって差が生まれていることについて触れている（研究2-(4)）。日本の高校生の一部は、性別役割分業の存在を自覚しているのかもしれない。

②について

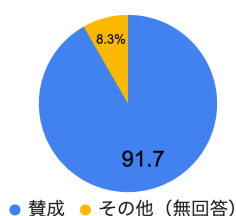
(5)日本の理系大学が取る女子枠設置に賛成か・反対か

ニュージーランド

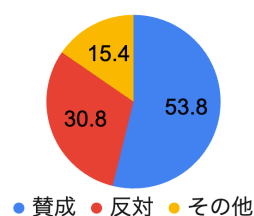
全体



女性



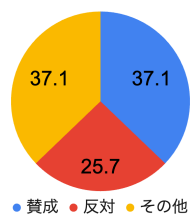
男性



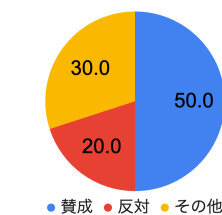
無回答（ノンバイナリー）1名：賛成

日本

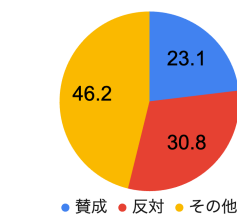
全体



女性



男性



無回答：反対1名、その他1名

日本のSTEAM（理系）分野の大学の男女格差の是正措置について、ニュージーランドと日本で賛成している人の割合が大きく異なることが分かった（研究2-(5)。「賛成」と答えた人の理由を見てみると、女性のために理系分野への推奨は必要だといった回答や、女性の理系分野の推奨が研究や社会の発展に繋がるといった回答が見られたが、日本にはそのような回答は見られなかった。「反対」と答えた人の理由を見てみると、ニュージーランドでは不公平である・多様な性を持つ人に対して制限をかけてしまう・優秀な学生を取ることを優先すべきだという意見が見られた。一方、日本では不公平さや能力主義を理由に挙げた人は見られたが、セクシャルマイノリティーに配慮した意見は見られず、「逆差別」といった言葉が散見され、この制度により男性の進学機会が奪われてしまうことを指摘した回答が多く見られた。理系分野の男女格差を根本的に解決に繋がらないといった意見も見受けられる。これらのことから、日本の高校生は理系大学の女子枠設置を男女格差を解消するための是正措置としてではなく新たな差別（男性差別）を

生み出す制度だと捉え、男女格差是正の根本的な解決策にはならないとみなしていることがわかる。

女子枠設置に対し日本とニュージーランドで大きな差異が生じた要因として、アファーマティブアクションに関する理解の差が考えられる。ニュージーランドは、世界で初めて女性の参政権を認めているように、男女格差を埋めるための動きが早期からある国である。1990年に制定されたニュージーランド権利章典法で「差別のために不利益を被っている人または人のグループを支援または促進する目的で善意で取られた措置は、差別に当たらない。」と明記されている。格差を是正するための優遇措置は差別ではないと公的に名言されていることが、ニュージーランドの高校生から「アファーマティブアクションは逆差別である」といった回答が見られなかった一つの要因なのかもしれない。

③について

(5)研究2-(4)(5)のクロス集計結果

ニュージーランド	研究2-(5)の質問			
研究2-(4)の質問	その他(わからない、無回答など)	賛成	反対	総計
そう思う	1	16	4	21
そう思わない	1	7	0	8
どちらとも言えない、分からない	2	7	0	9
総計	4	30	4	38

日本	研究2-(5)の質問			
研究2-(4)の質問	その他(わからない、無回答など)	賛成	反対	総計
そう思う	9	9	6	24
そう思わない	3	2	0	5
どちらとも言えない、分からない	1	2	3	6
総計	13	13	9	35

ニュージーランドの高校生のうち「男女の違いがある」と答えた人の多くは女子枠設置に肯定的なのに対し、日本の高校生で男女差を認識しながら女子枠設置を反対・留保（その他）に留める回答はニュージーランドに比べ多い（研究2-(4)(5)）。また、日本の「その他」の回答を見ると、実質的に「反対」と同じ内容のものが多かった。これらのことから、日本の高校生は男女差

があることを認識している一方で、女子枠設置に対し否定的な姿勢をとっている。尚、女子枠設置に否定的な印象を持っていても留保に留めている人が多いことがわかる。

IV 両研究からの考察

研究1により、高校生の「女子力」の使用実態からは、「女子力」は多様な価値観から生まれた様々な能力の中の一つであるのに過ぎないが、その一方で日本の高校生の中に良妻賢母を彷彿とさせるような性別役割分業の価値観が根強く残っていることに加え、ルッキズム（外見至上主義）的な要素がより強固になっていることがわかった。

また研究2からは、日本の高校生はアファーマティブアクションに対して否定的な印象を持つ人の割合が高く、逆差別だと捉える人が多いことが分かる。

以上のことから、日本の多くの高校生は女性が置かれてきた社会的地位の低さや押しつけられた固定概念に違和感を感じる人が少なく、これらのことを当たり前のことだと思い込み受動的な姿勢をとっているか、これらの問題を深刻視していないということが考察できる。

V 終わりに

現在、日本には男女平等な社会の実現を目指す動きがあり、その最先端を担っているのは若者であるというような捉われ方をされている印象がある。だが、本研究からはそのような傾向は見られず、「女子力」という言葉日本の高校生のジェンダーに関する価値観は過去と変わっている点もあるが、「男女で能力に差がある」という考え方は依然残っているように思われる。また、格差を是正するために発明されたはずのアファーマティブアクション的な考え方・取り組みにも、本研究では否定的・消極的な意見が多く見られた。今後の展望として、日本の高校生のジェンダー格差やアファーマティブアクションに対する姿勢の要因を追求していくことが挙げられる。

そして、より多くの高校生がジェンダー格差に関心を持ち、自身が置かれる環境のおかしさに気づき声を上げることができる未来が訪れることを願っている。

最後になりましたが、本研究を始めるきっかけを与えて下さりアンケート調査にご協力いただいた神奈川県立高校の皆様、神奈川県立高校にてサポートしていただいた指導教諭・関口さやか先生、研究部にてご指導いただいたアドバイザー佐藤公彦様に感謝申し上げます。並びにアンケートにご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

出典：菊地夏野(2016). 「『女子力』とポストフェミニズム：大学生の『女子力』使用実態アンケート調査から」. 名古屋市立大学学術機関リポジトリ.<https://ncu.repo.nii.ac.jp/records/1202>, (参照2023-7-15).

プラン・ユースグループ(2023)「ルッキズム（外見至上主義）を考える『ユースを対象にした意識調査』」. プラン・インターナショナル・ジャパン.

https://www.plan-international.jp/news/20230614_36771/, (参照2024-6-23).

文部科学省「2 学科系統分類表」. 文部科学省

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/08121201/003/004.pdf, (参照2024-5-12).

令和3年度内閣府委託調査 三井UFJリサーチ&コンサルティング.(2022). 「女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究」. 内閣府男女共同参画局.

<https://www.gender.go.jp/c-challenge/materials/index.html>, (参照2024-5-27)

第11回統合イノベーション戦略推進会議(2022)「【概要】Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ（案）」. 内閣府.

<https://www8.cao.go.jp/cstp/tougosenryaku/11kai/11kai.html>, (参照2024-5-27).

Publishmental counsel office 「New Zealand Bill of Rights Acts 1990」. New Zealand Legislation.

<https://legislation.govt.nz/act/public/1990/0109/latest/DLM225519.html>, (参照2024-6-1)

付録

研究1 アンケート結果

(2)「女子力」に対して肯定的なイメージを持つか、否定的なイメージを持つか

肯定的なイメージと答えた理由

褒め言葉として使われる、良いイメージ	62
内面に関する能力が高い、磨いている	38
あって損しない、力、能力、良いこと、ステータス	21
可愛い	13
高い低いがある、高いと良い	12
言われたら嬉しい	11
内面外見両方とも兼ね備えている、なんでもできる	11
外見に関する意識が高い	10
憧れ、キラキラしている	9
頑張っている、意識している、自分を高めている	9
女性らしさ	8
モテそう、モテる	4
個性・才能	2

否定的なイメージと答えた理由

ジェンダーレス、固定概念、女らしさの押し付け	8
言葉の意味・定義が分からない、違和感がある	3
他者と比較している	3
気にすることが面倒くさい、女子だ女子じゃないと言われて面倒臭い	2
自分にはないもの	2
人を下げるときに使う	2
自分から使わない	1
親に言われる	1

(5) 「女子力」という言葉に違和感を感じるか

感じると答えた人の理由

女性の役割の押し付け、女性だけではない	12
男女差別、男女を区別している	6
意味・定義が分からない	5
ジェンダーレス、今の時代にそぐわない	4
言われて嫌な思いをする人がある	2
一括り感	1

感じないと答えた人の理由

何度も聞いて慣れている、よく使う、一般的、当たり前	22
気にしていない、考えたことがない、違和感を感じない	16
あまり使ったことがない（聞くことがない）	7
悪い印象がない、人を褒めるときに使う	5
女性が持つべき能力を指しているわけではない	4
理由は特にない	4
自分が女性である	1
性別の違いから、男らしさ・女らしさは生じる	1
女子にも男子力があると考えている	1
昔の女性のイメージだから	1

(6) 「女子力が高い」と言われてどう思うか（複数回答）

A 嬉しく思うと答えた人の理由

- ・誉め言葉だと思うから。(7)
- ・器用だと言われているのと同じだから。(2)
- ・女子力が高い=可愛いということだから。
- ・人に褒めて貰った時は素直に喜ぶから。
- ・力だから、能力が高いということだから。(2)
- ・自分が女子だから。(3)
- ・女子らしくしていきたいから。
- ・プラスの言葉として認識しているから。
- ・良いものだと捉えているから。
- ・なんとなく
- ・嬉しいから(3)
- ・自分が何かのためにやっていることや意識して行ってきたこと、努力してきたことが認められている感じがするから。(3)
- ・褒められている感じがするから。(8)
- ・気が利くって言われた認識をするから。
- ・悪い意味ではないと思っているから。(6)

- ・家事などが出来るという意味だと受け取るから。(2)
- ・自分の能力を褒めて貰ったと思うから。
- ・生活に繋がる力が高いという意味で受け取るから。(2)
- ・そのように言われたことがないから。
- ・些細な気遣いが出来る人って感じがするから。(2)
- ・色々なことが出来ることだと思うから。(2)
- ・内面を褒められている気がするから。
- ・自分は女子であるわけだし、女の子らしいと言われた方が嬉しいから。
- ・当たり前なことに+αした能力だと思うから。
- ・男だから
- ・女子力を持ちたいと思っているから。
- ・モテそうだから。
- ・力が認められたから。
- ・高いから。
- ・プラスのイメージ。(4)
- ・自分の身なりに気を遣っているという意味と捉えるから。
- ・容姿や雰囲気などが女の子らしいというような感じのことを言われたようで嬉しいから。

B 嬉しく思う+反応に困ると答えた人の理由

- ・「男なのに女子力が高いのか」と思う反面、やはり褒められるのは嬉しいから。
- ・誉め言葉だと思うから。
- ・男だから女々しいのかと勘違いする。
- ・相手は女子力が高いことを良いことだと思っていてそれを自分に言ってきているから。
- ・女子力を上げたいと思ってやったわけではないことを、女子力という言葉で含められた時に少し違和感を感じるから。

E 反応に困ると答えた人の理由

- ・今まで言われたことがないから
- ・男(の自分)にそれを言われてもと感じるから。
- ・男だから(女ではないから)(10)
- ・女子力って何だろうと疑問に思うから。
- ・褒められると恥ずかしいから
- ・そう言ってくる人は自分よりも女子力があるから。
- ・自分の女子力が高いとは思わない・ないと思うから。(5)
- ・褒められているのかよく分からないから。
- ・嬉しくないから。
- ・褒められていることは分かるが、女として見られたくないから。
- ・嬉しいような気がするが、男子だからよく分からなくなる。
- ・褒める意味で使われているのか疑問に感じるから。

F 反応に困る+何も思わないと答えた人の理由

- ・ちょっと引かかるものがある。

G 何も思わないと答えた人の理由

- ・普通だから。
- ・女子力が何か分からない、あまり理解していないから。(2)

- ・その言葉を求めている訳ではないから。
- ・気にしていないから。
- ・男だから (2)
- ・自分にとってはデフォルトだから。
- ・今の時代は男子でも女子力があっても良いのかなと感じる。

H 不快に思うと答えた人の理由

- ・ただの悪口だと思うから。

I 不快に思う+反応に困ると答えた人の理由

- ・馬鹿にされている気がする、うざい。

J その他に答えた人の理由

- ・男だから何も思わない。
- ・女子力が微塵もないから。

(7) 「女子力」をあげたいと思うか

あげたいと答えた人の理由

- ・可愛くなりたいから、可愛いと思われたいから (5)
- ・=可愛い
- ・女子力が高い女の子はみんな努力してかわいくなっているのだから憧れます。
- ・モテる・モテそう・モテたいから (5)
- ・好きな人に振り向いてもらいたいから。
- ・(彼氏が) 自慢できる彼女でありたいから。
- ・いい女になって彼氏が欲しいから。
- ・あった方が良い・あった方が楽しそうだから (4)
- ・女子力はなくて困らない・高くても損はしないから。(4)
- ・将来的に料理とかメイクとかできての方がいいと思うから。
- ・自分一人で質のいい生活が出来たらすごく楽しいと思うから(あとカッコいい)。
- ・家事などはできた方がいいと思うから。
- ・家事は男子でもできたほうがよいから。
- ・女子力が高いと言われる人の方が生活が充実しているイメージがあるから。
- ・女子力が高い人は友達が多いイメージがあるから。
- ・上げられたら嬉しいから。
- ・清潔感が増す感じがするから。
- ・自分にとってのメリットを自分で作っている気がするから。
- ・料理が出来るようになりたい・料理が出来ることは良いことだから。(3)
- ・準備によく気を配れる人になりたいから。
- ・優しくなりたいから。
- ・家庭的なことができるようになりたいから。
- ・強くなりたいから。
- ・向上心が高い人と思われたいから。
- ・自己肯定感を少し上げたいから。
- ・できないことよりできることを多くしたい・出来ることが増えたら嬉しいから。(2)

- ・能力が高い方が人間として優れている気がするから。
- ・ある種の自分の向上に繋がるから。
- ・能力を上げることだから。
- ・自分を磨くことは大事だから。
- ・生活に繋がる力・生活に必要な力だから (2)
- ・生活しやすいから。
- ・女子だから。(2)
- ・高い方がいい女性になれる気がするから。
- ・いい意味だと思っているから。
- ・きちんとしたイメージがあるから。
- ・良い面だから。
- ・良いイメージしかないから。
- ・どちらかというのだが、良い人になることはいいと思うから。

あげたいと思わないと答えた人の理由

- ・男だから (12)
- ・今の自分らしくいたい、自分らしくいた方が楽しいから (4)
- ・女子力が高いの具体的なラインはないし、それぞれの人から見た自分が出している個性だから無理に変える必要は無いと思ってるから。
- ・(自分が) そういうキャラではないから。
- ・女子力ではなく人間力を上げたいから。
- ・スポーツやゲームをしている時の方が楽しいから。
- ・女子力=流行のものを身につけているかだと思うから。自分は流行のものが好きでない。
- ・裁縫セット持ち歩かないので。
- ・女子力以外に向上させたい力があるから。
- ・どうでもいい、興味がないから。(3)
- ・女子力という言葉にあまり興味がないから。
- ・意識するものではないと思うから。
- ・必要がないから。(2)
- ・女子力がなくても生活力があれば良いと思うから。
- ・女の子らしく振る舞う必要がないから。
- ・上げたいと思わない、備わっているもので良いから。(2)
- ・格好良くなってモテたいから。
- ・言われるのがあんま好きじゃない。

答えたくない、分からないと答えた人の理由

- ・男性なので (2)
- ・自分らしかったらそれでいいと思う。
- ・今のままでいいから
- ・意識してない
- ・気にしてない

- ・どうでもいいから
- ・どっちでもいいから
- ・そこまで上げる必要性を感じてないから。
- ・上げたいという気持ちも特別ある訳ではなく、かといって女子力が要らないとは思わないため
- ・そもそもがよくわからないから
- ・女子力みたいに総合的なものではなくただ単にその能力を上げたいなら上げるとおもってるため
- ・全力でメイクをしたり服装や髪形を意識して過ごしたい!となっているのは正直なところ手間の ようなものはかかってしまうし、無理して判らないようなことをするのでなく、自分の中の最低ラインを達成できていたらと思う。
- ・思われない人に可愛いわかって思われていたい人なので。それ以上でもそれ以下でも

研究2の結果

(1) 好きな教科（自由回答）

ニュージーランド 女性

好きな教科	その理由
理科、英語、歴史、法学	概念について分析すること、それを反映させることが好き
歴史	過去についてまなぶことが好き
英語、数学、生物、体育、健康	楽しい、役に立つ、大学での勉強に役立つ、楽しい、大学で必要な教科
数学	面白くて様々な場面で役立つ
食事、数学、健康、ビジネス、法学	
体育、健康、数学、生物	
DVC、美術	デザインを描いたりより学ぶことが好き、絵を描くことが好き
健康、生物	人助けをしたい・健康の異なる側面について理解したい、面白い・役立つ
健康、地理	健康問題とその影響に興味がある、興味のある世界の行事とその影響についてしることが出来る
美術、英語	絵を描いたり勉強したりすることが楽しい、視覚的で口頭の文章
英語、生物	面白いトピックス、とても面白い
英語、生物	映画を見て分析することが好き、生物全般が純粋に好き
英語、生物	数学よりまし
ビジネス、ホスピタリティー	
演劇、英語、観光学	女優になりたいから興味がある、観光学はもう一つの進路選択
美術、DVC	創造的、創造の自由がある。
演劇、美術、音楽	異なる人と協働作業をして演じることが好き、物を作ることと手作業が好き、楽しい
美術、心理学	沢山やることがあって楽しい、人間が面白い
作文	書けるから。
化学、生物、英語	身体の事や化学的なことを学ぶのが好き、特にフェミニズムに関する映画を学ぶことが好き
生物、化学、物理	世界のことを教えてくれる。
観光学	やることや新たに発見することが沢山ある
DVC	デザインすることが好き
化学、生物、デジタルテクノロジー	

ニュージーランド 男性

好きな教科	理由
演劇、音楽	楽しい、音楽を作れる
統計、商業	
DVC、文学	楽しい
理科、英語	面白い
ホスピタリティ、美術	楽しい・食べれる、絵を描ける
ビジネス、演劇	得意・将来役立つ、表現力豊かになる・コミュニケーションスキルを学べる
歴史、地理	人間の過去の歴史は保護されるべきだから、地球や自然は興味深く美しいから。
微積分、演劇	楽しい
デジタルテクノロジー、物理、微積分	将来に関わってくる
DTE,微積分、統計	
数学	答えが複数ない
英語、演劇	簡単、社会的交流を簡単にしてくれる
デジタルテクノロジー、生物	想像的で楽しい

ニュージーランド 無回答

好きな教科	理由
演劇、英語	とても楽しく、より自分に自信を持てるようになる、沢山の映画が見れる

	人数	割合
理系科目が含まれている	0	0
芸術科目が含まれている	1	100
理系科目のみ	0	0
芸術科目のみ	0	0

日本 女性

好きな科目	理由
数学・美術	数学に簡易しては前述の通りで、美術は自分の好きなことを自由にできる時間だから。
数学	正解した時の喜びが一番あるから。
英語	
世界史	
美術	
数学	考えて答えを導き出すのが好きだから。
美術	絵を描くことが好きだから。
英語	言語であり、コミュニケーションツールになるから。
家庭科	幼児や乳児のことを知れるから。
家庭科	
音楽	楽器を弾くことが好きで、現在ピアノを習っていて、中学は吹奏楽部に入っていたから。
	どの教科も同じくらい好き。
理科	メカニズムが面白いから。
数学・倫理	パズルみたいだから・哲学が好きだから。
数学、英語	
英語	英語は日本語と同じく一つの言語であり、一言一言に、思いがのせられるものだから。
国語、英語	
国語	
日本史	
世界史	好きな漫画の影響

日本 男性

好きな科目	理由
現代文	要約してる時が一番気持ちいい。
英語	帰国子女だから。
数学	得意ではないが、一つの問題についてじっくり考えるのが好きなため。
英語	
理科・化学	不思議なことが多く、さまざまなことを試してみたい。
数学	
国語（現代文）	本などの文章で、著者の位置を汲み取ったり、自分の意見を持つことが好きなため。
政経	
社会	上に同じく
政治経済	
数学	
英語・中国語	
国語（現代）	昔から国語が得意であったから。

日本 無回答

好きな科目	理由
数学	国語の問題みたいに他者の価値観による答えではなく、全員必ず同じ答えに辿り着くから
国語	楽しいから

	人数	割合
理系科目のみ	1	50.0
理系科目が含まれている	0	0
芸術科目	0	0
芸術科目が含まれている	0	0

(2)得意教科

ニュージーランド 女性

得意な科目	理由
英語、歴史	研究が得意で大量のものを読み書きすることが心地よい。
歴史	ずっと歴史が好きだから
体育	数年間やり続けているから
数学、美術、体育	面白いから
優秀な生徒として承認されている	
体育、健康	
DVC,英語	描くことが好き、読むことが好き
健康、英語	興味のあるトピックス、書くことが好き
健康、生物	興味のあることがあり、その結果そのことが興味の幅を広げて良く出来るようになった。興味があり、実用的な知識が得られた結果、良く出来るようになった。
美術、英語	興味があるから、努力をしている
英語	論文を書くことが好き
英語、生物	好きだから、より努力している
英語、生物	
ホスピタリティー	料理が得意
演劇、英語	好きだから。
DVC	自由に創造できるからとても簡単で楽しい。
美術、演劇、音楽	小さいころからやっていた、多くの時間を練習や改善に費やしてきた、いくつかの楽器を演奏し日常的に練習している。小さいころからやっている。
美術、英語	興味があることだから、小さい頃に沢山本を読んでいた
健康	新しいことを学ぶことが好きだから。
英語、ホスピタリティ (料理)	象徴主義や意味づけにかんするアイデアが沢山持つてるから、料理が好きだから
理系科目	
料理、観光学	簡単だから
英語 (映画分析)	分析することが得意
化学、生物、健康	自分が情熱を持っている科目となるとベストを尽くす傾向がある。

ニュージーランド 男性

得意な科目	理由
ドイツ語、音楽	ドイツ人だから、音楽を作れるから
体育	走るのが好き
DVC,文学	クラスを取っている、自分の考えを表現できる
理科、英語	考えを読み解くのが好きだから
美術、ホスピタリティ、英語、地理、歴史	
ビジネス、演劇	マインドセットに基づくビジネスがすごく好きで良い話し声を持っている、自分は良い話し手だと思う
やれば何でも得意だしやらなければ得意ではない	
演劇	良い成績が取れるから
デジタルテクノロジー	学ぶことが楽しい
DTE,微積分、統計	
数学	はっきりした理由はない
得意教科はないけど、どのように取り組めば良いのかは知っている	
数学、生物	調査が基礎になってる

ニュージーランド 無回答

得意な科目	理由
料理、演劇	

	人数	割合
芸術科目が含まれている	1	100
芸術科目のみ	0	0.0
理系科目が含まれている	0	0.0
理系科目のみ	0	0.0

日本 女性

得意な教科	理由
数学	答えが出るのが快感。没頭できる。
なし	
歴史	
世界史	
国語	
物理	唯一できるから。
現代文	物語が好きだから。
英語	話せるようになった時の達成感があるから。
国語	
数学	
音楽、体育、美術	
特になし	
数学	やり方覚えればできるから。
英語	習い事でやっていたから。
特にない	
英語	好きだから。
国語	
国語	
現代文	
数学	

日本 男性

得意な科目	理由
現代文、数学、英語、社会全般	
英語	帰国子女だから
世界史	何もしなくても点数が取れるため
英語	
情報	PC関係が得意なため
国語	
9教科に縛られない	
国語（主に現代文）	
社会	社会問題など、正解のないことを考えるのが好きだから。
政治経済	政治部や議員事務所でのインターンをおこなってきたから
数学	
国語	強いて言うなら国語ってだけ
国語	面白いから。

日本 無回答

得意な科目	理由
数学	兄に教えられた
国語	適当にやっていたら点が取れるから

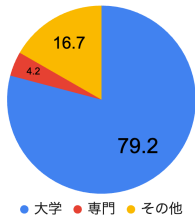
	人数	割合
理系科目のみ	1	50.0
芸術科目が含まれている	0	0.0
理系科目が含まれている	0	0.0
芸術科目のみ	0	0.0

(3) 高校卒業後の進路希望

ニュージーランド

女性

女性



高校卒業後	詳細	展望
大学	法学、犯罪学、ジェンダー	刑事追訴、政策分析、政策研究
大学		犯罪学弁護士
大学	医療分野	医師か健康や理科分野の先生
大学	美術	教師
大学	法学	弁護士
大学	カイロプラクティック	カイロプラティカー
専門	特殊設計、家具	インテリアデザイナー、起業する
大学	心理学	心理学者
大学	看護	看護師
大学	美術	文学士、刑務所で心理学
大学	法学	弁護士
大学	薬学	薬剤師、薬に関わる仕事
大学	看護	看護師としてはたらく
その他	一年間旅行	未定
大学	演劇	俳優
大学	デザイン	インテリアデザイナー、特殊デザイン
その他	実家の教会を継ぐ、教会を継いで他の人を幸せにしたい	映画業界に勤める、アニメーション監督
大学	美術（ファインアーツ）	未定
大学	DTE	赤ちゃんのお世話orその他
大学	医療看護か小児看護	小児看護しか普通の看護師などの医療系
大学	保健学（獣医）	牛や馬、羊などを診察する大型動物の獣医
その他	ホスピタリティマネジメントのコースを取る	レストランを経営する
その他	見習い	インテリアデザイナー、建築士
大学	心理学、デジタル産業	心理学/グラフィックデザイン（デジタル産業）

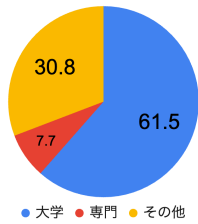
大学進学を選択した人の専攻分野別の人数と割合（※文部科学省学科系統分類に従い分類）

	人数	割合
保健	6	31.6
社会科学	5	26.3
芸術	4	21.1
工学	2	10.5
農学	1	5.3
家政	1	5.3
人文科学	0	0.0
理学	0	0.0
商船	0	0.0
教育	0	0.0

理系分野に進学する人の割合：47.4%

男性

男性



高校卒業後	詳細	将来の展望
その他	就職→演劇学校	俳優
大学	会計学	会計士
専門	グラフィックデザイン	グラフィックデザイナー
大学	カイロプラクティック	カイロプラクティカー
その他	バーテンディング	接客業、バーテンダー
大学	ビジネス	起業・CEO,会社の重役
その他	俳優	俳優
大学	ビジネス、欧州旅行をしたい	会計士、俳優
大学	コンピューターサイエンス	プログラマー
大学	プログラミング	
大学	数学	
その他	アニメ	アニメ
大学	エンジニア関係	エンジニア関係

大学進学を選択した人の専攻分野別の人数と割合（※文部科学省学科系統分類に従い分類）

	人数	割合
工学	3	37.5
社会科学	2	25.0
理学	1	12.5
保健	1	12.5
人文科学	0	0.0
農学	0	0.0
商船	0	0.0
家政	0	0.0
教育	0	0.0
芸術	0	0.0

理系分野を専攻する予定の人の割合：62.5%

無回答

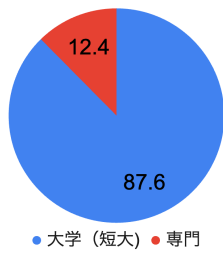
カテゴリー	詳細
その他	1年間海外を旅した後、自分のカフェを経営する

大学で理系分野を専攻する予定の人の内訳

	保健	工学	農学	理学	合計
女性	6	2	1	0	9
男性	1	3	0	1	5
無回答	0	0	0	0	0

※文部科学省学科系統分類に従い分類

日本
女性



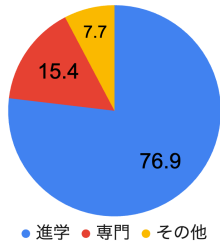
カテゴリー	詳細	
大学、短大	大学で建築学部	一級建築士、
大学、短大	未定	未定
大学、短大	芸術専攻の大学に行く	舞台監督
大学、短大	大学で国際文化学部に行く。	未定です。
大学、短大	大学で外国語系の学科に行きたいと思っています	役者
専門学校	動物に携われる専門学校に行く。	愛玩動物看護師
大学、短大	芸術系の大学、マンガ学科に進学予定	イラストレーター、キャラクターデザイナー
大学、短大	大学の心理学部または経済学部に行く	未定
大学、短大	保育系の短大に行く。	保育士や幼稚園教諭
専門学校	動物の専門学校に行く。	トリマー
専門学校	写真の専門学校に行く	写真家。
大学、短大	大学でデザイン工学を学びたい。	何かしらのデザインをする仕事。
大学、短大	未定	未定
大学、短大	大学で農学部に行く	未定
大学、短大	理工学部に入学予定。	研究者
大学、短大	大学の教育学部に入り、教員免許を取得する。	英語教員(中学、高校)
大学、短大	大学の文学部に行く	未定
大学、短大	大学で文学部に行く。	未定
大学、短大	大学進学、社会学部を志望。	未定。
大学、短大	大学でドイツ語を学びたい。	役者

大学進学を選択した人の専攻分野別の人数と割合（※文部科学省学科系統分類に従い分類）

	人数	割合
人文科学	5	29.4
工学	3	17.6
社会科学	2	11.8
教育	2	11.8
芸術	2	11.8
農学	1	5.9
理学	0	0.0
保健	0	0.0
商船	0	0.0
家政	0	0.0
その他	0	0.0

大学進学希望の人のうち、理系分野を専攻する予定の人の割合→23.5%

男性



高校卒業後	詳細	将来の展望
大学、短大	大学で経済とかそこらへん勉強します。	院進or就職
大学、短大	国際教養学部に行く。	外資系か、海外で就活。
大学、短大	情報科学系	未定
大学、短大	大学で心理学部に行く	心理カウンセラー。
専門学校	ゲーム・3Dモデル系の専門学校に行く予定だが、曖昧	3Dモデラー
専門学校	ゲーム系のプログラミングの専門学校に行く。	ゲームプログラマー
大学、短大	大学で経済学に行く	不労所得
大学、短大	東京都立大学 経済経営学部志望です	財務や経理といったマネジメント系の職業に就きたいです
大学、短大	大学に進むことはほぼ決定的だが、学部等については検討段階。	起業することを検討しています。
大学、短大	大学で法学部に行く。	テレビ記者、衆議院議員
大学、短大	国立医学部	心療内科
大学、短大	海外大学に行きたい	・金融・生物学 どちらも趣味
その他	運輸業へ就職する	デザイナー

大学進学を選択した人の専攻分野別の人数と割合（※文部科学省学科系統分類に従い分類）

社会科学	5	50.0
その他	2	20.0
工学	1	10.0
保健	1	10.0
人文科学	0	0.0
理学	0	0.0
農学	0	0.0
商船	0	0.0
家政	0	0.0
教育	0	0.0
芸術	0	0.0

理系分野を専攻する予定の人の割合：20%

無回答

カテゴリー	詳細
その他	すみません、教えたくはないです。
専門学校	音楽の専門学校に行く

大学で理系分野を専攻する予定の人の内訳

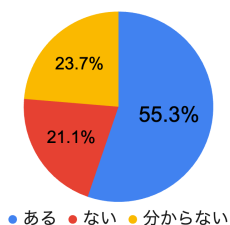
	保健	工学	農学	理学	合計
女性	0	3	1	0	4
男性	1	1	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0

※文部科学省学科系統分類に従い分類

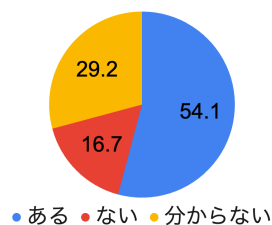
(4) 男女の違いによって持っている能力や才能に差が出ると思うか。

ニュージーランド

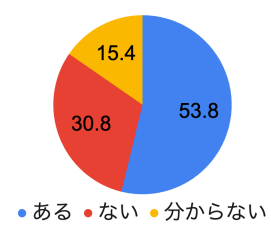
全体



女性



男性



無回答1名：ある

あると答えた人の理由

- ・男女平等であるべき。女性は物理的にも精神的にも成長が早く、男性は女性よりも筋肉量が多い。
- ・スポーツでは男性の方が有利だが他の側面では男性が有利なものはない
- ・ジェンダーは才能や能力には関係ないが、lighting mole genesなどの特殊なものはより有能だったりする。だからと言って女性はそれらのことができないという訳ではない。いくつかの能力はジェンダーが違うことで簡単になることはある。
- ・身体的な能力の違い
- ・男性と女性は違う
- ・女性の方が男性より優れている
- ・男性は学校や大学ではさほど熱心に取り組もうとしない。典型的な男性は伝統的か肉体労働をする仕事を選ぶ。
- ・遺伝子に違いがある側面があるけど、それが全てではない
- ・男性/女性の考え方はそれぞれ技能や興味によって異なり、遺伝的に違う性別よりも優れている能力もある。
- ・女性は字が綺麗
- ・身体の仕組みが違うので、スポーツの面で男女の間に違いがある。男性の方が女性に比べると筋肉量が多いので、パワーリフティングに関しては男性の方が優位だと思う。知能レベルの違いはない。
- ・ジェンダーの違いはそれぞれ違う目的があることによって生じる
- ・男女はそもそも違うようにできていて、違うことをする。勿論、女性は男性と同じことが出来るけど、大変なことである。
- ・ジェンダーの違いによっていくつかのことは簡単だったり難しかったりする。
- ・統計的にジェンダーは一般知能に影響しないことが証明されているが、男性は女性よりも生物学的に強いのでスポーツに関しては男性の方が優れている。
- ・皆違うから。
- ・男性は配管工や大工などの仕事に就きたがり、勉学に興味を示さない。
- ・才能はジェンダーによるものではなく、その人が何を得意とするかによる。
- ・男性の方が生物学的に強い、通常女性よりも運動的だ。

ないと答えた人の理由

- ・皆性別に関係なく、同じ能力を持っていると思うから。
- ・違いなどない。
- ・ジェンダーに能力の壁はない。
- ・皆それぞれ違う。誰も他者より優れていることがあるけど、それは性別が理由なのではなく時間と努力を費やすことで得意なことを手に入れている。
- ・あるとしたら、それは生物学的なものではなく社交性や平等や機会の不足。
- ・男性と同じくらいことが出来るし男性よりも優れていることもある。
- ・どの性別でも同じ才能や能力を持っており、男性なのか女性なのかは関係なく、どのように取り組んできたかである。
- ・女性も男性と同じことが出来る。

分からない・その他と答えた人の理由

- ・男女ともに人間であり素晴らしく、どちらの性別も同じことをできる能力がある。
- ・自分の頭が変わっているから（おかしいから？）
- ・全てのことでジェンダー平等だと感じている。

・メディアが人々に伝えていることが男女差があるという原因だと思うが、そうでもないとも感じる。

才能や能力は人の性格やどのように育ったかによるものだと思う。沢山の人がそれぞれ違うことに興味を持っている。

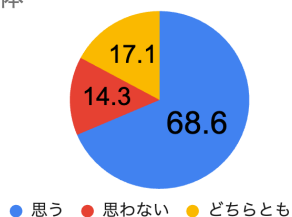
・社会では、いくらかの人はそうとは考えなくとも、女性も男性も仕事を披露するための平等な機会がある。物理的な制限はない。

・分からない、皆それぞれの道で平等だと思う。

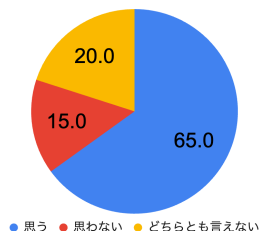
・女性と男性は、人種に関わらず大きく異なる。女性に関しては、男性よりもはるかに様々な葛藤を経験し、男性は女性とは違うことを経験する。なぜなら、両者ともに成長するにつれ異なる過程を経るから。それらのことが私たちの考え方や行動に影響を及ぼし、それによって私たちが選んだ才能や能力にも影響が出る。

日本

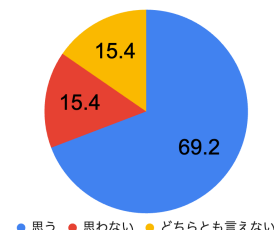
全体



女性



男性



無回答・その他2名：ある

あると答えた人の理由

・社会全体の空気感を自分に落とし込んでしまってるため

・そもそもの体の構造が違うため

・男女に差はある。例えば骨格・筋力の差。だがそれを埋めるために制度を作るのは愚策。極端な例になるが、引越し会社が二つあり、一社目は10人の男と男性だけで構成された会社であり、二社目は時代の波に乗り女性の雇用枠を作り5人の女性・5人の男性と半分ずつ採用した会社だとする。個人差は生じるが男性は30kgまで1人で持つことができ、また女性は15kgだと仮定する。このような場合、女性は30kgの物は2人がかりで運んだりするため圧倒的に二社目の作業効率が悪くなる。1社目の会社は年間平均100件の案件をこなす。だが作業効率の悪い二社目の会社は75件だとする。そうした場合、会社は収益が悪化し、1社目の会社と比べて給料は安く、リストラされる危険性も高い。

このようなことを踏まえた上で、女性枠というものを設けることは男女差別とは別に経済的な利益を生み出す仕組みになりうるものなのかどうかを考える必要があると考える。

・人間の男女で考え方や感情などの違いがあるのかはわかりませんが、物理的な違いはあるため、少なからず存在していると思います。

・生物学的に出産可能か不可能かといった違いが存在しており、生物学的な性差での能力差はあると考えるため。

・そもそも身体の作りが違うから優劣が完全には言えないので

・何が原因で男女差が生じているかは調べたことがないのでわからないのですが、たまに耳にする”左脳右脳の強さが、男女によって違いがある”とかはあると思うし、私が実際に高校で、選択授業受けてた時も男女差がひどかったのは事実なので、男女の違いによる能力差はあると思います。身をもって体感しました。本当に、周りに女子友達がいなくて辛かった(;;)

・骨格、筋肉量、身長や、男性脳・女性脳と言われるものの違いなどあると思います。実際に体力測定の平均に差が出ていますし。けど、女性だから女性脳で、身長が小さくて、細くて、可愛いものが好きなか弱い人たち、男性はその逆だ。って全てを決めつけるのは違うとも思います。

だって私自身カッコいいストリート系の服を着こなせる人になりたいし、可愛いフリフリのディズニープリンセスが着るようなめっちゃ可愛いドレスも着たい。その真ん中の中性も勿論大好きです。他にも「女性っぽい仕事をしなさい」などと言われるとちょっとムカッしたり...性格診断をすると高確率で男性寄りの中性脳だと言われます。男性脳寄りの自覚もあります。それに元々が男性/女

性だからってカッコ良く/可愛くなれないなんて思いません。女性か男性かの違いで差が出ると思いますが、それだけでどちらかが上だなどとは思いません。長文失礼しました。

- ・男性と女性ではそもそも体つきの成長の差が出ますし、女性はホルモンバランスが男性に比べて安定せず、それに伴って精神も安定しないことが多いのである程度の能力の差が出るのは仕方がないのかなと考えています。
- ・今の若者はまだ親の影響で男女に好きなスポーツや科目が異なっていると思うけど、今後は次第にそういうのは無くなって好きな色のランドセルで小学校に通い、好きな進路で学びたいことが学べる世代になっていくと思う。
- ・ジェンダーの場合は人によるが、身体性別の場合は生物なので男女間でのギャップが生じるのは仕方のないことだと考えているから
- ・体格差や体力の差は兄弟や友人を見ていてひしひしと感じるから。
- ・体力の差とかはしょうがないと思う。
- ・実際、理系へ進学する女性の割合が少ないとのことだったので少なからず差は出ていると思ったから。
- ・頭脳などは余り変わらないと思うけど、肉体的な強さは、男性の方が強いことが多いと思う
- ・体の作りが違うほか、感情の振り幅などにもさまざまな男女差は存在すると思いますが、それは体や脳といった、形状的な理由に過ぎなくて一人の男性女性ではなく人間として、その能力や才能をカバーできるほか、遥かに能力を超越させることが可能だと思います。要するに、差はあるとしても、それをカバーできれば男性、女性は関係ないということですね。
- ・個人差はあれど、基本的に大抵の場合体力や立場に差がでるから
- ・ルックスや安心感が関わる仕事は違うかもしれないが、それこそ理系の研究職などで、男女の中から一人雇う予定の時に、同じくらいの能力だった場合、企業としては、産休に入る可能性があり、男性より基本的に体力が少なく、女性を雇う理由が一切ない。
- ・男子は筋肉がつきやすい、背が伸びやすいなどの体の違いがある以上、まったく同じというわけにはいかないとおもうから。でも、それは がしやすいという傾向や、全体を俯瞰して見た時に差があるだけで、個人差は少なからずみんなあるから、一概に男子は～、女子は～と言うのは違うと思う。

(答えになってなかったらごめんなさいm(._.)m)

ないと答えた人の理由

- ・もちろん身体的な差はあるものの、現代の職業の中では男女で一定以上の差がつくものではないと思うから。
- ・結局は個人の努力に帰属すると思う。
- ・人間はみんな助け合っていくのが一番生きていく中で大事だから。

どちらとも言えないと答えた人の理由

- ・その人の出处と能力(努力など)次第
- ・基本的には差はないが、身体的な違いから体力や運動能力などの面で差は出ると思う。ただこれはそれぞれの平均を見た場合であり、結局のところ、一人一人が違う生き物であるがゆえなので、一概に性別で能力の話をするのは違うと感じる。
- ・本質的に差はないと思うが、思い込みや偏見などで差が出てきてしまうのではないかと思うから。
- ・男女で学力やIQに差は出ないと思う。
- ・過去の偉人のことを学べばわかるが、機会を与えられた人、環境が恵まれていれば女性でも男性と同様に世界で活躍できる知性を持ち得る。もちろん筋力や体力といった面では生物学上能力の差が出てしまうのは当たり前だし、女性は男性よりも共感能力が高かったりと、科学的に証明されているものも多くあると思う。(詳しくないのでなんとも言えませんが、)
- ・能力や才能に関して性別に基づく一般的な差異を指摘することは複雑です。生物学的な違いがあることは事実ですが、能力や才能においては、社会的、文化的、個人の経験など多くの要因が関係しています。例えば、物理的な力の差は男女間で統計的に見られることがありますが、知的能力や創造性、感情の理解といった領域では、性別よりも個人差がはるかに大きな影響を与えると広く認識されています。また、特定の能力や才能が性別によって決定されるという考え方は、しばしばステレオタイプや偏見に基づいており、実際に

はそれぞれの個人が持つ可能性や能力を制限することにも繋がりがかねません。教育や社会的な支援、個人の努力や興味は、能力や才能の発達において重要な役割を果たします。そのため、「どちらとも言えない、分からない」と回答しました。性別による違いが一部の生理的特性に見られる一方で、能力や才能に関しては、性別よりも個人の経験や環境など多様な要因が影響するため、一概に性別による差異があると断言することは難しいからです。

・運動能力に関しては男女差があると思うが、頭脳面や芸術的才能に男女差はないと思うから。

(5) 日本のSTEAM（理系）分野の大学の男女格差の是正措置についてどう思うか。

ニュージーランド

賛成と答えた人の理由

- ・女性の追求することに対する興味を作り出すことができる
- ・女性の学生が増えれば、全体の利益になる。
- ・平等性を促進できるから
- ・より多くの女性がこれらのことを専攻するのは良いことだ。
- ・女性が男性と同じように沢山の選択肢を持てるようになった方が良いから。
- ・より多くの女性が、阻もうとする偏見を気にせず各々がやりたいキャリアを追求できれば、平等を高めるだけでなく人々の考えを変えるかもしれない。
- ・アフーマティブアクションは、男性優位である文化を覆すための良い方法である。
- ・理系分野で女性生徒が少ないのなら、私たちの子どもたちがやりたいことを何でも出来る未来を広げることの始まりに参加するよう促進した方が良いから。
- ・女性は理系分野を専攻する権利があるはずだし、STEAMは性別的役割にとらわれるべきではなく、平等であるべきだ
- ・全ての人は平等な機会があることに値するから
- ・女性は、自分が進みたいと思う職業に就くことができるようになるべきであり、理系科目は良い高い教育力のある制度である。女性の理系進路を推奨することは素晴らしい考えだ。
- ・女性が理系分野に進むことを推奨されていると感じるはずだから。
- ・STEAM分野にもっと女性が必要だ。
- ・女性が自分の興味を追求すること、ジェンダーが理由でぶち当たるであろう壁を超えることを奨励することになるから。
- ・この分野に興味があったり、勉強していたり、能力があったりする女性のやりたいことを追求することを奨励し、支援することが出来る。
- ・ジェンダーは知能を分けるものではないから男性も女性も理系科目やSTEAMを専攻するための機会を男女ともに持つべきだ。
- ・女性も出来るのだから、女性はもっと理系分野に進むことに力を入れるべきだ。
- ・女性がそれらの科目に興味を持っているのなら、彼女らがそれらの科目を追求できるようになるので良いことだ。
- ・女性は男性と異なる分野で働いた方が良いから。
- ・女子生徒が、全てつまらないといって取っていなかった、本当は興味のある科目を履修することを促進するのに役立つと思う。
- ・女性が医者や科学者になる機会が増えるので良いことだと思う。
- ・女性の未来により多い機会を提供することになるのに加え、ジェンダーは理系科目の向き不向きに影響しないと思うから、多くの女子生徒が理系科目に目を向けるようになるための良い方法だと思う。
- ・理系科目を専攻する女性を増やしたいということは良いことだと思う。
- ・理由はない
- ・男性優位の職業に女性を引き付けるための良いアイデアだと思う。仕事にさらなる平等や自由をもたらし、採用についてより良い考え方を生みだす。

・より多くの女性が理系の世界に参入することは、他の女性もより安心して医者に診てもらえるようになり、女性の健康や問題に異なる観点が提供されるようになるので素晴らしいことだ。

女性の推進は素晴らしいアイデアだ。

・ジェンダーが何であろうが関係ないと思う。これは、理系やSTEMの研究を形づくり貢献するための方法だと思う。全ての人が好きなことをやるべきだと思うから、この政策に賛成する。

・女子生徒が大好きなことをできるようになることは素晴らしいことだ。

反対と答えた人の理由

・アンフェアである

・他の性別に制限をかけてしまうから。この制度はSTEAMに関する進路を選択しようとしている男女とも異なる性別の人に制限をかけてしまうことになるから。

・女性を増やすのではなく、ジェンダー関係なく優秀な生徒を大学は取るべきだ。

・ジェンダーではなく技能で生徒を取るべきだ。

日本

賛成と答えた人の理由

・反対ではないし賛成だが特に興味はなかった

・現状のキャンペーンでは、女性比率を増やすのはほぼ不可能だと思うから。

・男女問わずしたい勉強ができるならいいなと思った。

・昨今、医学系大学で女性の合格者が極端に少なかったことが問題になっていたのだから、あらかじめ人数を宣言しておいたほうが不透明さが解消されるのではと思ったから

・前は私も理系になりたかったから。

・女性が少ないという問題があるのなら、対策があってもいいと感じたから。

反対と答えた人の理由

・その分野の才能のより優れた人が、大学に合格するべきだと思っているため。理系進路を選択する女性を増やす必要があるのであれば、理系に進学する女性が少ない原因を探り、根本的に解決する必要があると思う。

・女性だから合格の枠を作るというのは別の意味で差別になりかねないから

・優秀な人材を育てるための機関である大学などでは性別は関係ない。全てを点数で判断すべき。

・私が知っている中での話にはなりますが、そもそもの取り組み方が間違っていると考えているため、今のままの方向性で理系に進学する女子を増やそうとすることは反対です。

そもそもの話になりますが、日本の理系進学率自体が、諸外国（OECD）と比較し、男女双方共にかなり低い割合となっています。

ここで自分が一つ疑問に思っていることは、男女問わず日本は理系進学率の遅れをとっているのに、女性を増やそうとしている意図がわかりません。考え方の違いかもしれませんが、私は男女問わずに理系進学率を上げるような計画を立て、実行し、改善傾向が見られて、その時に男女による差があらわれるようになってからようやくその差を埋めるために必要な物だと思っています。

現在日本に限らず、世の中は男女平等と言う言葉をよく掲げられ、男尊女卑と言われる仕組みに対してさまざまな改変を行なっている中、男女双方共に平均を下回っているのに、女性だけ枠を作ろう、増やそうなんてことをしたら男性側から不平等だと思われるのはまず間違い無いと思います。

加えて、たとえ今の取り組みで女性の理系進学率が上がり、諸外国と比較しても平均程度、もしくはそれを越えたとして、次に残るのは男性の理系進学率の低さが問題になると思います。この時に、女性の理系進学率を上げるのと同様の取り組みを行なった場合、今まで両方低かったため露呈されなかった問題もまた新しく生まれ、大学で男性の枠を作れば女性側から不満が出てくるでしょう。最悪

の場合、女性の理系の進学率が下がり、元通りになる可能性もあると考えています。それは、今まで女性側にとって文系と比較して有利だったものがなくなるからです。

長ったらしく書いて申し訳ないですが、自分の意見としては、男女共に低い物を片方を上げたとしても、ご時世的にも将来的にも長くは続かないと考えています。

- ・理系の学部で、研究等をするに性別は関係なく、それよりも優秀で興味のある人を集めた方がいいと思うから。
- ・性別関係なく、進学したい人が進学できていればそれで良いと思うから。また女性枠を設けた時点で、性別によって進学できる可能性
- ・確率に差がでてしまい、不当な優遇となると思うため。
- ・学問は性別関係なく平等な機会が与えられるべきだと考えているから。

女性の枠を設けることで、理系の学問に進むことができる女子が増える一方、テストの点数は合格点に達しているのに、女性枠のせいで定員から漏れてしまう男性がいたとしたら、女性枠の取り組みは、点数が全てのはずの一般入試では差別になってしまうと思う。

また、本当に理系学科に行きたい女性がいたならば、自分の力で男女の壁関係なく進学できると思う。

- ・逆に男性差別に繋がってしまうから
- ・女子枠を使わずに女性を増やす方法はいくらでもあると思うし、男女差別と捉えることができるから。

その他（どちらでもない・分からない）と答えた人の理由

・いわゆる理系分野に進学する女性を増やすのが大切だとは思うが、求める学力基準を男女で変えることが本質的な解決につながるのかどうか分からないから。

- 1、優秀な人を育成するために大学は存在するので、その公平性を保つには、既存のシステムを引き続き利用すべき。
- 2、数学は男性のほうが有利というステレオタイプが日本では特に見られるため、その偏見を払拭するべきだと思う。
- 3、理系分野に進む女性が少ないのは、日本特有のステレオタイプが原因であって大学の入試制度ではないと思うから
- 4、女子枠を設置したところで、根本的解決（理系に進む女性を増やす）にはならないと思う。

- ・女子枠があると不公平な受験になるように感じるから。
- ・入試制度は性別等の理由で差別されることなく、学力によって公正平等に運用されるべきであるから。ただ、総合型選抜といった制度での運用程度であれば問題ないと考えているため。
- ・女子枠とまでだと少し行き過ぎな気もしてくるから。無理に増やすよりはやりたいものをやらせるべきで女性だから就きたい職業に就けないというのがあるのなら問題にするべきではあるが、女性が少ないだけでは動くに値しないと考えている
- ・自分の進路の選択が広がったので、当時はラッキー！と思いました。

しかし男子諸君はこの制度を抜きにして正々堂々と戦っているため、フェアな制度ではない。とも感じたため、賛成だ！と強く言えないです。

私自身、理系女子が増えて欲しいという気持ちもあります。しかし女性枠を設置するならば、大学に進学する機会を男女平等にするために男子枠も設置した方がいいのではとも思いました。

”女性であること”が原因で女性が理系の大学に進学できない状況なのであれば、この制度を実施する価値はあると思います。

しかし今の時代は男女平等にテストを受けられると思うし、逆にこの制度によって、本当はその大学に見合う能力を持っている男子が、その男子未満の能力である女の子に負けるなんてことがあれば、それはもうこの制度を撤廃すべきだと思います。

- ・あんまり詳しく知らなかったです...
- ・研究分野などにおいて、多様性をもたらしたり、ジェンダーレス促進という面ではメリットが大きいと思うが、逆差別だとか、ずるいなどという意見が多い以上、女子枠で入った子も胸を張ってのびのびと好きなことを学ぶということが難しい環境にあることも多いのではないかとと思うから。一概に正しい、正しくないとは言えないと思う。
- ・女性の理系進路を確保したいという意見もわかるし、それが不平等であるという意見もわかるから。
- ・正直みんな好きに生きれば良いと思うし、生物学的に女性の方がキャリアを続けるのは難しいと思うから

今まさに出産などでキャリアが中断されることに対して不安を覚えている人に対して支援をした方がいいと思うから

- ・希望する進路に性別は関係ないと思うから